

青梅市地域女性活躍推進事業【青梅市】

地域の実情と課題

青梅市は平成17年をピークとして人口減少局面に入った。また、少子高齢化を背景として、生産年齢人口の減少が顕著である。このような流れの中、市内の約99%を占める中小企業現場において、女性社員が活躍できる風土や環境づくりが課題となっている。

目的・目標

企業現場において管理職候補者や将来のリーダーとなる女性社員を対象とした人材育成プログラムを展開するとともに、企業や市民への意識啓発に取り組むことで、女性が個性と能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりを推進する。事業の成果を図る指標として本事業参加者の管理職等登用2割を目標とする。

事業の特徴

女性が活躍できる環境づくりにスポットをあて、次代の女性リーダーづくりに取り組む。さらに、本事業の成果は、その先の女性社員のためのロールモデル作りにも寄与し、性別に関係なく個々の能力を発揮し、企業の中心を成すことにつながる。

連携団体

学識経験者・地域団体の代表・公募市民とで構成する青梅市男女平等推進計画懇談会から意見を聴取し事業構築を図るとともに、中小企業を中心として地域産業の実情を把握している青梅商工会議所と連携して事業を推進する。

事業の効果

各企業から管理職候補者や将来のリーダーとなる若手女性社員などが参加していることもあり、経営者の期待や受講生徒のモチベーションは高く、それに十分に答えられるプログラムを展開してきた。また、日々の業務で知り合うことが少ない業種との人的ネットワークが構築できた。さらに、市民や企業経営者などの前で発表する機会を通じ、聴講者への意識啓発を図ることができた。本事業参加者のうち管理職等登用2割という目標に対しては、即座に登用とはならないが、次代を担う人材育成を図ることができた。

今後の課題

青梅市では初めて、女性の活躍推進に正面から取り組み、本人や企業側からの評価を含めて一定の成果を得ることができた。一方で、本事業で行った経営者等へのヒアリングから、地域企業の中にリーダーとなるべき人材が潜在化していることも伺い知ることができた。仕事と生活の調和を図ることができる環境づくりと合わせて、潜在化している有能な人材の掘り起しが必要である。

事業の概要

青梅市の地域経済を支える企業において将来の管理職やリーダーとなる女性を対象として、必要なスキルの向上や意識の啓発を図るとともに、その個性と能力を十分に発揮できる職場環境を整備することにより、企業活力の向上および女性が活躍できる社会の実現を目的として実施

3段階の事業展開

① 啓発セミナー

2015年11月12日
講演会・セミナー

② マネジメントスクール

2015年11月から
2016年2月まで 全5回

③ 成果報告会

2016年3月11日
講演会・成果報告会

青梅市地域女性活躍推進事業は、全体を貫く共通テーマを「女性リーダー活躍推進セミナー～女性が輝く、企業が光る～」とし、企業に勤める女性社員や経営者層を主なターゲットとして、3段階の事業展開を図った。

第1段階として、企業の経営者や人事担当者を対象に、経済的見地から女性の活躍の重要性について講演会を開催した。同時に、次段階のスクール参加の心得や重要性を伝えるためにセミナーを開催した。

第2段階目は「活躍する女性リーダーのためのマネジメントスクール」と題し、管理職候補者や次代のリーダー、経営後継者などを対象に、15の企業から18名の女性社員の参加により、4か月間全5回のスクールを開催した。経営や財務の基礎からコミュニケーションスキル、PDCAによるマネジメントサイクルなどを学びスキルアップを図った。



第3段階では、スクールで学んできた成果発表の場として報告会を開催した。各企業から経営者や同僚などの参加をはじめ、市民へも参加を呼びかけた。成果報告会は、2部構成として第1部には活躍する女性を代表して三浦由紀江氏に講演いただき、第2部では、受講生一人ひとりが成果発表を行った。

既存情報紙との連動

年2回発行している男女平等情報紙「よつばの手紙」（発行部数34,000部）をボリュームアップさせ、特集記事として取り上げた。



情報紙は、市民と協働して編集・作成しており、今回、特集として取り上げることで市民委員にも女性の活躍を考える良い機会となった。



情報紙は、自治会加入世帯への配布や、駅等で配布するなど広く市民に親しまれている。